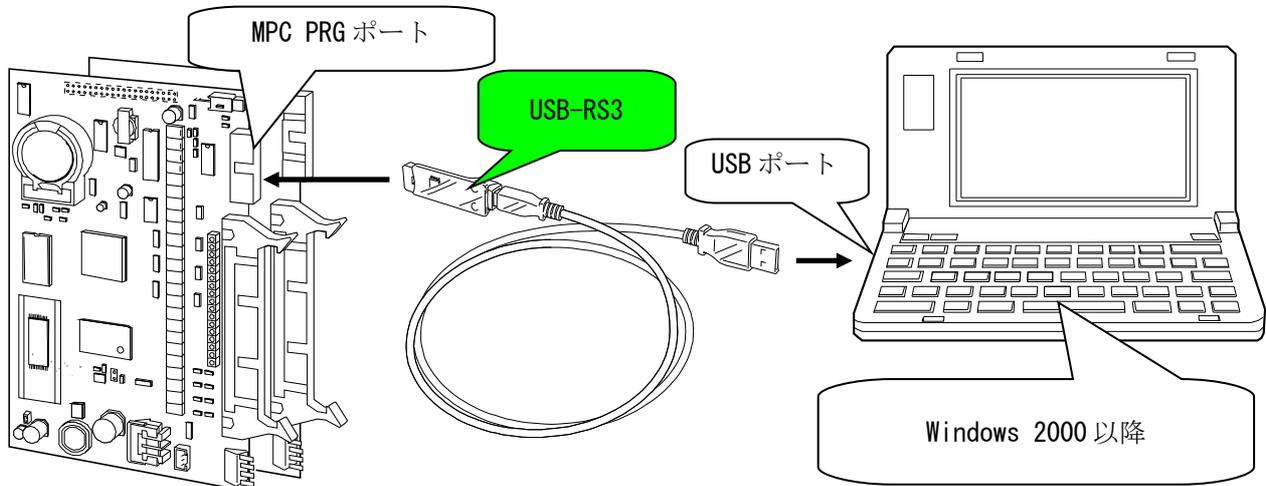


USB-RS3

MPC 用 USB<=>シリアルコンバータ

2011/08/01

■接続例



■デバイスドライバのセットアップ例(Windows XP)

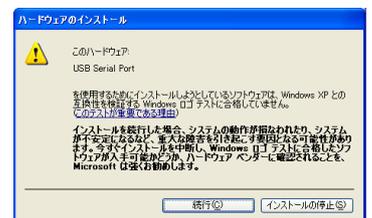
USB-RS3 をパソコンに接続する前に、“FTMW_Setup_Jpn¥Accel_Setup_jpn.msi” を実行して下さい。セットアップ終了後、USB-RS3 をパソコンに接続すると、Windows がそれを認識し「新しいハードウェアの検索ウィザード」が開始されます。(作業は通常“USB Serial Converter” と “USB Serial port” の2回行われます)。



「一覧または特定の場所～」をチェックして「次へ」をクリックします。



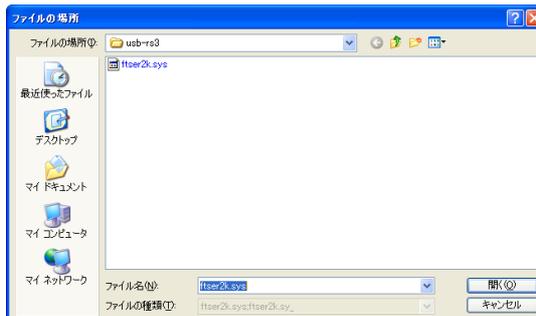
「次の場所を含める」に C:\Program Files\ACCEL\USB-RS3 を指定します。(このフォルダには上記セットアップにより必要なファイルがコピーされています。)



警告のダイアログが出ますが【続行】します。



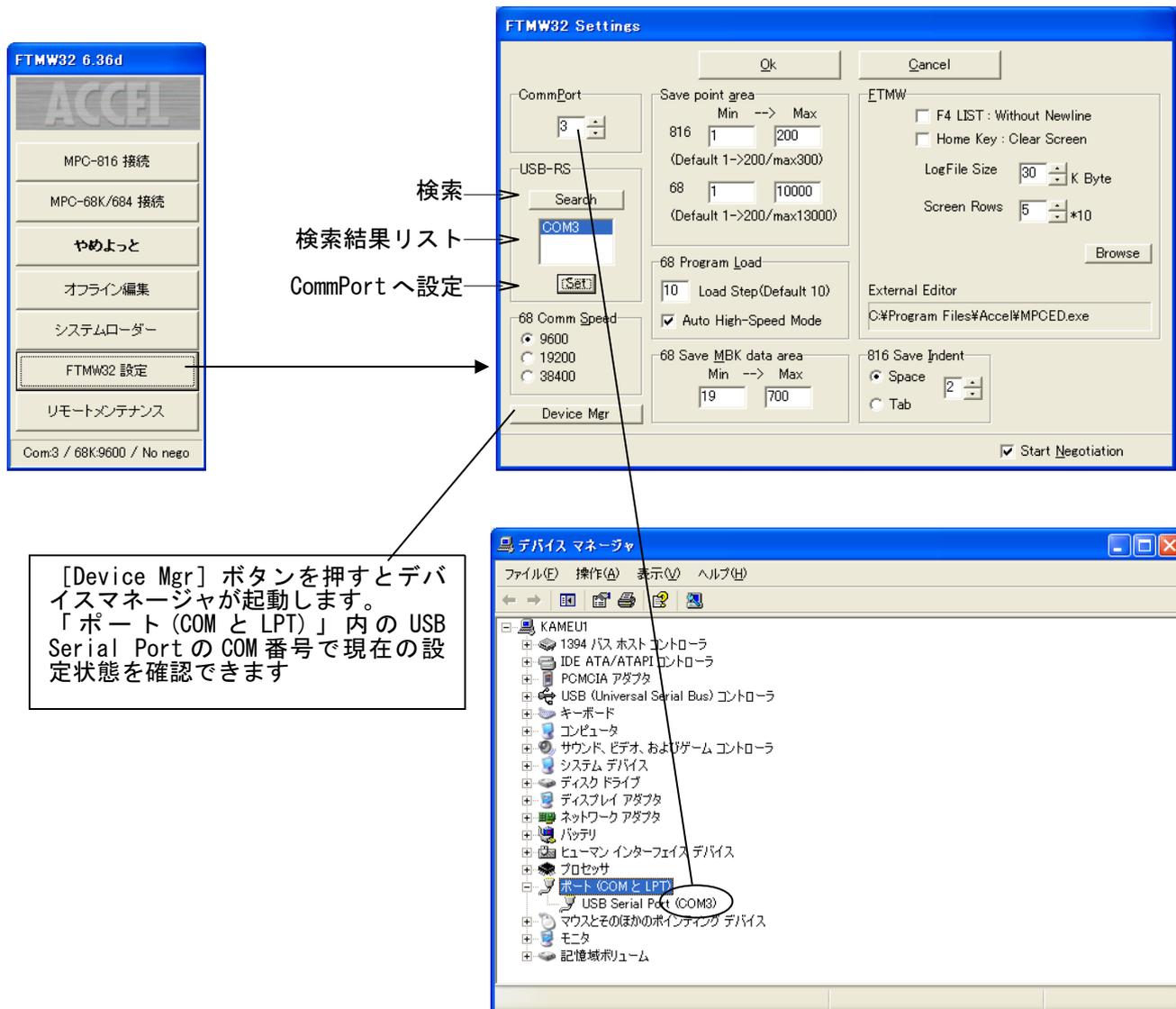
「ファイルが必要」ダイアログで 1 回目:ftdibus.sys、2 回目:ftser2k.sys を要求されたら C:\Program Files\ACCEL\USB-RS3 フォルダの各ファイルを指定して下さい。



セットアップが完了しました。

■FTMW の CommPort 設定

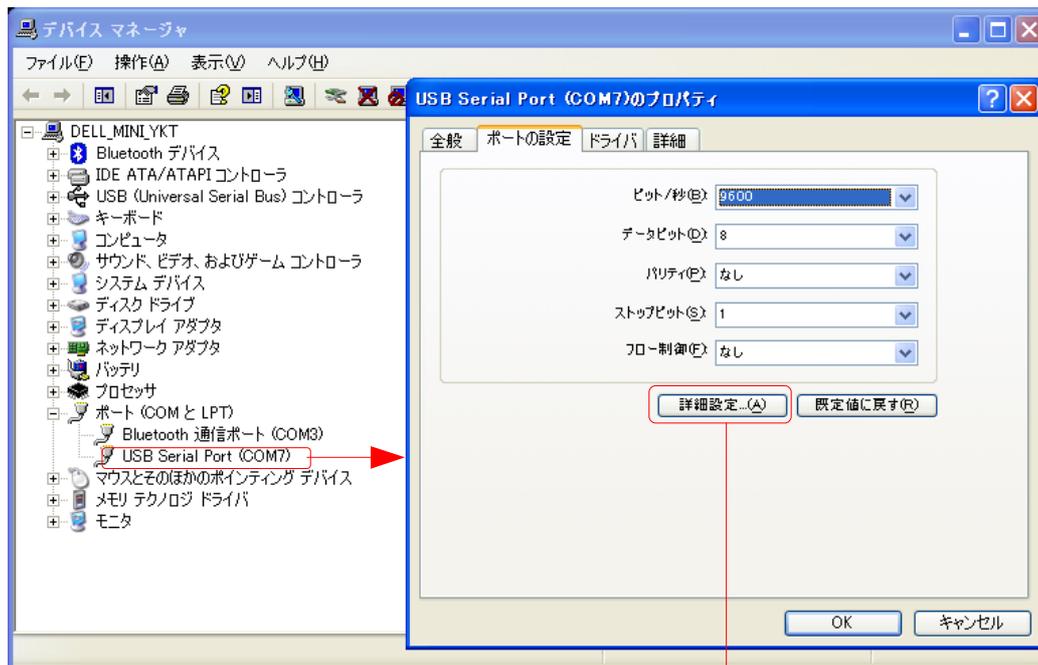
FTMW 初期画面の [FTMW32 設定] ボタンから設定ウィンドに入ってください。
Search ボタンを押すと USB-RS3 を検索して結果をリストに表示します。Set ボタンで CommPort へ設定します。



- USB-RS3 は製品毎に固有のシリアル番号を持っています。それにより、Windows は製品毎に異なる COM ポートへインストールします。USB-RS3 を複数使用する場合はアプリケーションの設定を整合させてください。

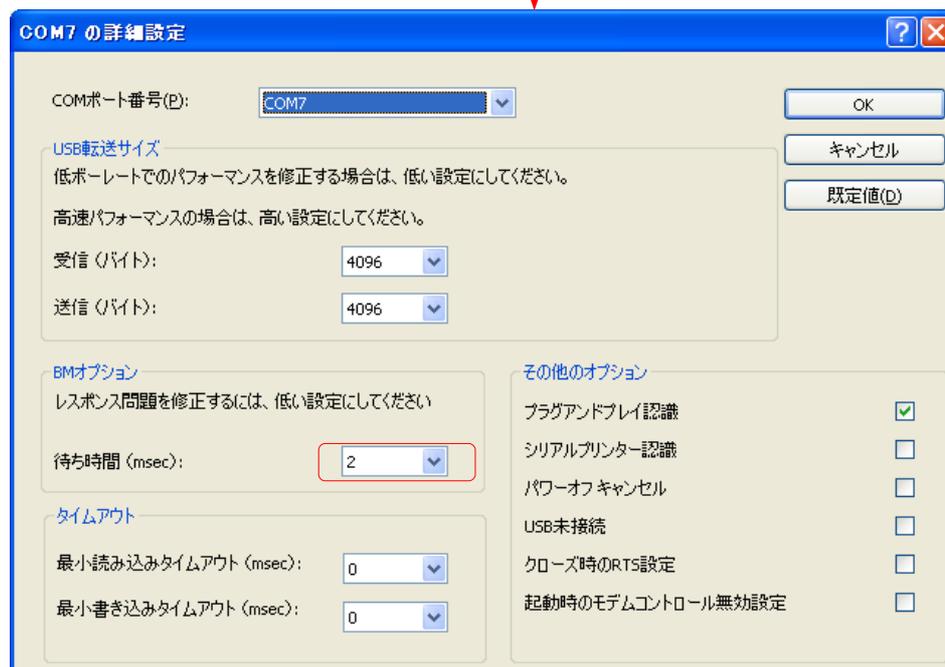
■USB-RS3 デバイスドライバー 詳細設定（通信の効率化）

USB-RS3 はデバイスドライバーの詳細設定により通信効率を上げることができます。
プログラムの保存/読込、I/O チェック等が速くなります。



デバイスマネージャーで USB Serial Port のプロパティを開きます。

「詳細設定」を押します



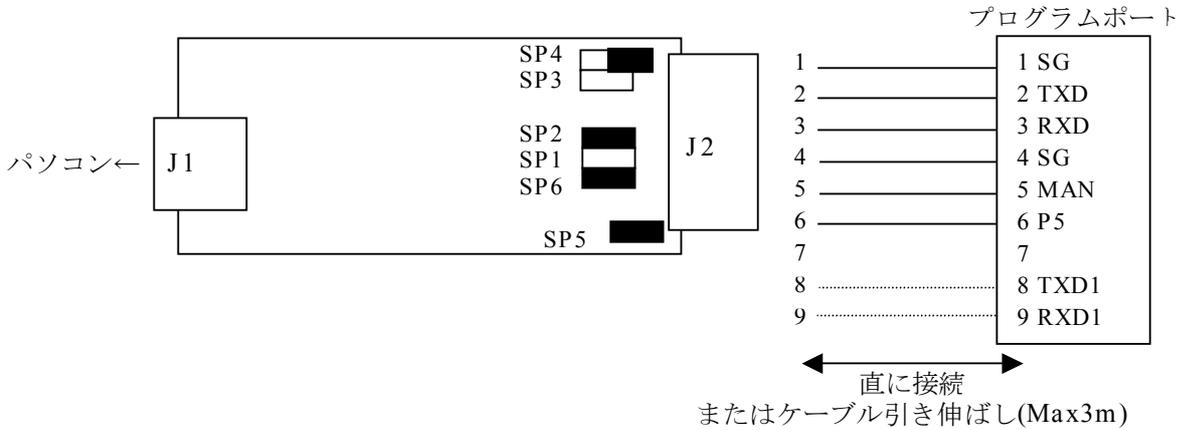
待ち時間 (msec) を 2msec にします

- 「待ち時間」の既定値は 16msec です。設定範囲は 1～255msec で、値が小さいほど効率は上がりますが、1msec は USB フレーム転送周期と同じなので推奨できません。
- 2011 年 8 月 1 日以降ビルドのインストーラ「Accel_Setup_jpn.msi」でセットアップすると 2msec で設定されます。

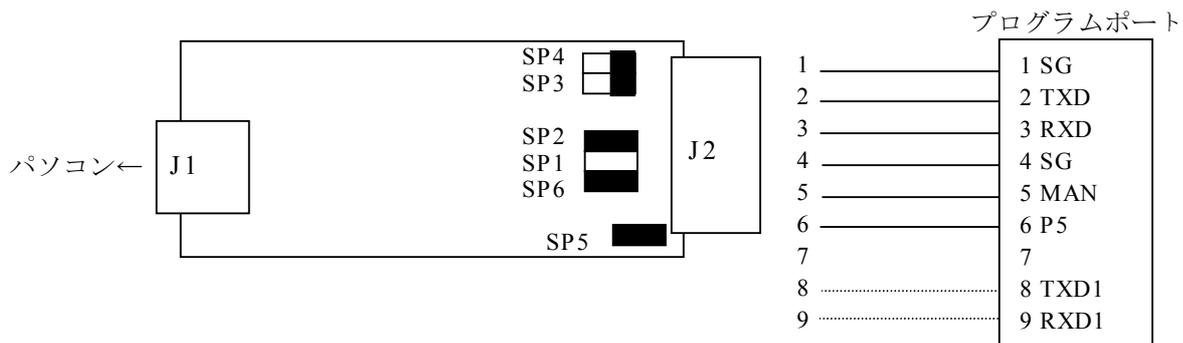
■USB-RS3 ショートピン設定

USB-RS3 はショートピンの設定でプログラムポート接続とユーザーポート接続を選択できます。また、RS-232 レベルコンバータを搭載しているので、USB-RS～パソコン間を延長できます。
■のショートピンにジャンパーを差してください。

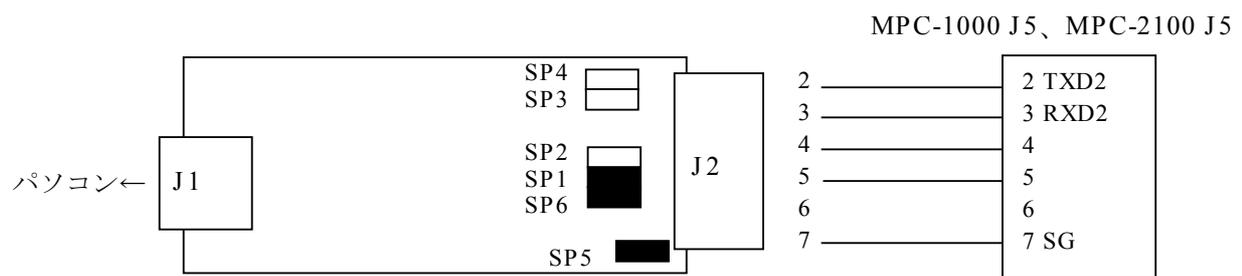
①プログラムポート接続（出荷時）



次の図のように SP3 と SP4 をショートすると TXD1 と RXD1 のループバックテストが行えます。



② TXD2、RXD2 接続



③ TXD1、RXD1 接続

